

<速報>

「Team HRC with 日本郵便」が鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 45 回大会で優勝 ～Team HRC は 3 連覇、Honda として通算 30 勝を達成～

「2024 FIM^{※1}世界耐久選手権“コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 45 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）」が、7 月 21 日（日）に鈴鹿サーキット（三重県）で開催され、Honda のワークスチーム^{※2}「Team HRC with 日本郵便（マシン：CBR1000RR-R FIREBLADE SP ライダー：高橋巧、名越哲平、ヨハン・ザルコ）」が優勝しました。

Team HRC としては鈴鹿 8 耐で 3 連覇を達成し、Honda は通算 30 回目の優勝となりました。また、ライダーの高橋巧選手は、鈴鹿 8 耐の優勝回数で史上最多となる通算 6 勝を挙げ、名越哲平選手とヨハン・ザルコ選手は初優勝になります。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム

優勝した Team HRC with 日本郵便は、19 日（金）に行われた計時予選において 3 位のタイムを記録。予選タイムの上位 10 チームで争われる“トップ 10 トライアル”進出を決めました。19 日（土）15 時 30 分から行われたトップ 10 トライアルでは、高橋選手とザルコ選手が走行し、計時予選と同様、3 位で決勝を迎えました。

決勝レースは 21 日（日）11 時 30 分に火ぶたが切られ、スタートライダーは昨年と同じく、高橋選手がつとめました。スタート直後の競り合いを制して、11 周目にトップを奪還した後は徐々にリードを広げていきました。その後はザルコ選手、名越選手も、終始安定した走りで見事な差を広げました。レース終盤には、40 秒加算のペナルティを課されましたが、Team HRC with 日本郵便は史上最多の 220 周を走り、高橋選手が 19 時 30 分にチェッカーを受け、3 年連続の鈴鹿 8 耐勝利を達成しました。

■株式会社ホンダ・レーシング（HRC）代表取締役社長 渡辺康治

「Team HRC with 日本郵便の 3 名のライダー、チームスタッフならびに関係者の皆さん、重圧をはね除けて 3 連覇という偉業を成し遂げてくれて、心から感謝します。高橋選手は、鈴鹿 8 耐最多の 6 勝という素晴らしい記録を残してくれました。初参加となったザルコ選手と名越選手もこの勝利に多いに貢献してくれました。参戦をサポートして下さった日本郵便株式会社をはじめとした多くのスポンサーの皆様にも、改めて感謝申し上げます。これからも HRC は、モータースポーツファン、Honda ファンの皆様のご期待に応えるべく、チャレンジをしてみたいと思いますので、変わらぬご声援をよろしくお願い致します」